

# 女性カウンセリング事業【青梅市】

個別事業費	569 千円
交付金額	284 千円

## 地域の実情と課題

令和元年度、青梅市内にある中核を担う企業約100社に対し行った調査では、管理職に占める女性の割合が5%以下の企業が約7割もある状況である。  
 また、令和3年度の市政政総合世論調査から、女性活躍推進のため、ビジネススキルの向上や女性のキャリアアップのさらなる促進が必要との結果を得た。  
 以上のことから、管理職を目指す女性社員の掘り起しをどのように進めていくか、またどのように職場で活躍できる環境を整えるかが課題として挙げられ、それらの解消のため、女性社員のキャリアアップ意識の向上や、経営者全体の意識向上についてセミナーや勉強会の場を設けることは重要である。

## 事業の特徴

女性が抱える様々な悩みに対し、産業カウンセラーによる丁寧な聞き取りなどを通して、相談者が抱えている問題を整理し、問題解決につなげた。  
 また、より専門的な対応が必要と判断した際は、市の法律相談やDV担当課などの関係部署へ繋ぐとともに、必要に応じて国や都の相談窓口の案内を行った。あわせて、各種相談窓口の連絡先を記載したカードを配布し、継続的な相談につながるよう配慮した。  
 毎月第一・第三金曜日に相談窓口を開設した。

## 事業の効果

本年度は44件の相談に対応した。  
 カウンセリングを通じて、相談者が自分の状況を整理できたことにより、問題解決に向けて行動できるようになるなど、支援の効果が認められた。

## 目的・目標

悩みを抱える女性に寄り添うことで社会参画を促し、自身のキャリアについて希望が持てるようになることで、意識の向上を図れるようにする。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	他の機関との連携	10件 (アウトカム)	10件 (R8年3月時点)	100%
事業KPI	相談者数	72人 (アウトプット)	44人 (R8年3月時点)	61%

## 連携団体

青梅市ジェンダー平等推進計画懇談会(学識経験者、青梅商工会議所、NPO 法人おうめ子ども未来、公募委員)

## 今後の課題

利用者の拡大に向け、HPや広報以外にも、SNSの活用等更なる周知強化が必要である。  
 また、フォローアップの充実に加え、過去の被害に起因する不安など、複雑化・多様化する相談内容にも対応できる体制が求められる。

### 女性カウンセリング事業（はればれ）

悩みを抱えた女性に寄り添うことで、一日も早く本来の自分を取り戻し社会復帰ができるよう、カウンセリングを行う。カウンセリングでは、丁寧なフォローアップも実施。相談者が、自身のキャリアについて希望を持ち、意識の向上を図れるようにする。

なお、悩みが解決し、心が晴れ晴れとしてほしいとの願いから、当カウンセリングは「はればれ」という名称が付いています。

#### ～実施スケジュール～

実施日：毎月第一・第三金曜日

時間：①9：30～10：20

②10：30～11：20

③13：10～14：00

④14：10～15：00

1日4名の事前予約制で、1回につき50分。

産業カウンセラーと1対1で話し、より専門的な対応が必要な場合は、各種法律相談やDV担当部署などへつながります。

#### ①まずは相談

カウンセリングを受けることで、どこに問題があるのか明確にでき、解決方法が見つかります。

#### ②他の窓口との連携

より専門的な対応が必要な場合は、市の関係部署のほか、国や都の窓口も御案内することで、早い問題解決が見込めます。

#### ③アフターフォロー

相談が途絶えた方や他の窓口へつないだ方など、丁寧なアフターフォローを行うことで、目標である、相談者の社会参画を促し、意識向上が図れたのか確認します。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	他の機関との連携	10件 (アウトカム)	10件 (R8年3月時点)	100%
事業KPI	相談者数	72人 (アウトプット)	44人 (R8年3月時点)	61%